

ヒアリングの概要について

(1) 趣 旨

子育て支援者からみる市民の子育てへの不安や困っていること等を把握するとともに、既に実施しているアンケート調査では把握しづらい、支援の必要性があると思われる子どもたちの状況についても把握することを目的とし、調査を実施した。

(2) 調査対象と抽出方法について

アンケートでは聞き取ることができない保育所（16 園）、幼稚園（4 園）、小学校（7 校）、学童クラブ（12 ヲ所）、児童館（3 館）等に通う子どもたちの状況について、子育ての担い手に対してヒアリングシートを配布し、記入していただいた。今後、対象の絞込みを行い、対面式のヒアリングを実施する予定。

(3) 回答状況について

施設名 \ 回答者	園長、館長 校長	主任保育士	職員	その他	合計
私立保育園・ 認定こども園	2	2	4		8
私立幼稚園	2				2
児童館	3				3
学童クラブ			10		10
ふっさっ子の広場				7	7
小学校	2		2	3	7
合計	9	2	16	10	37

問7 子どもたちを見て、貧困、障害、外国籍など気になることは何だと思いますか。

- ・気になる子どもが増えている中、その対応や保護者への伝達で苦勞する
- ・日本語が分からない子どもに対する支援者としてのコミュニケーションの取り方
- ・言葉の壁（外国籍）により授業についていけない子どもや不登校になってしまう子どもがいる
など

問8 子育て支援についての意見

- ・時代的に共働きになってしまう家庭環境が多く、子どもとのコミュニケーションが取れる時間が少ない
- ・保護者の子育てに対する不安を緩和したり、アドバイスがあれば心の余裕が生まれる
- ・子育てに悩む親、疲れている親をいかにして孤立させず寄り添うことができるか
など

【保育園】

問3 園や施設に通う子どもたちを見て、幼児期に身につけておくべき「生きる力」について、気になることはありますか。

① 生活面(身の回りの清潔、衣服の着脱、食事、排泄、睡眠等)について

	意見内容	人数
1	嫌いなものは食べなくても良い(親が食べられないから、食卓に出さない)という考えで食事を与えている	2
2	きれいに食べない(食べ残し、食べこぼしなど)	1
3	夜遅くまで大人と一緒に行動し、睡眠時間が不規則(親の寝坊など)	9
4	食事中でもトイレに行きたがる	1
5	アレルギーの子が多くなった	3
6	和式トイレ使用の経験不足	1
7	園と家庭で一緒に行うことが大事	1
8	偏食、好き嫌いが多い子が多い	3
9	物を大事にする、着脱や後片付けなどの身の周りのことを自分でしようとするに加え、マナーを身につけていく必要	3
10	家庭の協力が少ない(トイレトレーニング、箸への移行)	1
11	外遊びの機会が少ないのか、危機予知能力が遅くなっている	1
12	おむつが外れる時期が遅い(親の都合含む)	2
13	食事中の姿勢や食器の持ち方、箸やフォークの持ち方等が身につけていない	1
14	集団給食だからか、野菜でもおかわりしてよく食べるが、家では食べないという親の嘆きがよく聞かれる	1
15	離乳食中に入園してくる子は、始める時期が遅くやわらかいものが多く、主食におかずをのせた食事が多い。ほぼレトルトやインスタント類を使っているため、将来健康に過ごせるのか心配。	1
16	幼児組の子でも、家では食事中に食べ歩きがいて悩んでいる親が多いようだが、比較的子どもの言いなりになって振り回されている	1
17	好き嫌いは少しずつ食べられるように、担当が無理なく声掛けをしている	1

② 人とかかわる力について

	意見内容	人数
1	加減が分からない子が多い。「こうしたらどうなるか?」を深く考えずに行動するので危険	1
2	友だちの気持ちが理解でき、思いやり、仲良くできることが大切	5
3	集団の簡単なルールを理解することが難しい子が年々増えている	1
4	友だちとの距離感、自分がなんでも一番じゃないと気がすまない子など協調性にかける子どもが増えている	2
5	自分の思いや要求を相手に伝えることができない	2
6	思い通りにならなかった時に、一度思いどまると色々な発想ができる力を身につける	2
7	家族以外の人とかかわりを保育園で身につける	1
8	異年齢とかかわりから、いたわりの気持ちや事故をコントロールする力が培われたり、年上への憧れから挑戦する力が養われる	1
9	人間関係が希薄になってきている分、人と係る機会を意図的に作る必要がある	1
10	異年齢だと気持ちを受け止められるが、同年齢だと気持ちをぶつけてしまう	1
11	ゲームや集団遊びの中でトラブルで、みんなを巻き込みながら話し合いをして解決していく姿が見られる	1
12	幼児組は異年齢保育のためか、自ら年上の子は年下の子の面倒を見たり教えてあげていたり、そんな姿を見て年下の子は年上の子に憧れ、子ども同士で育ちあう姿がある	1
13	当番や出欠席の報告など、友達と一緒に行動する中で、相手の気持ちや自分の気持ちを伝え、生きる力を身につける	1

③ 学ぶ力をつけるために、大事だと思うことはどのようなことですか

	意見内容	人数
1	自分自身の考えを表現する。他人の考えを聞く	2
2	考える力、忍耐力を身につける	1
3	小さいうちから色々な体験をさせること	7
4	遊び込むこと	1
5	「自分なりの考えや工夫」を進んでおこなうようになり、自立して考える資質・能力の表れで、小学校以降の学びに必要な	1
6	子どもからの発信を見逃さない	1
7	楽しむこと	1
8	興味や関心を持って、自分でやってみようという意欲を持つこと	2
9	本に親しみを持つ	1

問4 幼稚園、保育園での教育・保育と小学校教育が円滑に接続され、子どもが不安なく小学校生活をスタートできるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。また、実際に行っているもの(状況)はありますか。

	意見内容	人数
1	小学校見学は必要かと思う	2
2	散歩等で学校の近くを歩き、校舎を見たり、校庭で活動している生徒の様子を見ている	1
3	学童クラブの見学は行っている	1
4	保育園に小学校の先生が訪れ、情報を話す	6
5	小学校で交流会を行えばよい	2
6	今年度は小学校からお誘いがあり、1年生がするお店屋さんごっこに招待していただき、年長児が学校を訪問	1
7	毎年保育要録を書いて、各学校に届けている	5
8	あまり目立たず、気にしてもらえない子の中にも配慮が必要な子もいるので気にかけてほしい	1
9	支援学校での入学後2回学校公開日があり、児童の成長を見学でき、とても良い	1
10	運動会への参加を通し、円滑に接続されるようにしている	2
11	支援が必要な子の情報共有は少なく感じる	1
12	交流回数をふやしたい	2
13	小学校の楽しさを園でPRしていくこと	1
14	幼・保・小学校での連携がまだ上手に行われていないような気がする。2-3月に小学校の見学に行っているが、そこから先に進んでいない	1

15	小学校と連絡をとれば一日授業体験の交流活動ができるのか。そういう情報はどこで得られるのか。小学校との情報交換会がないので、小学校の情報さえ入ってこない	1
16	2月ごろ、各小学校から電話で子どもの様子を聞かれ、自園では直接会って様子を伝えたいと申し出るが、気になる子がいなければ電話でいいといわれることが多い	1
17	小・中・幼・保の意見交換会等が年に数回拓かれると、いろんなことがお互いに見えてくるのではないか	1
18	小学生になる(大人になる)よろこびを伝える	1

問5 「家庭の教育力」を高めるために重要なことは何だと思いますか。お考えを自由にご記入ください。

	意見内容	人数
1	家庭は安らぎのある楽しい居場所になってほしい	3
2	保育園に預ける時間が長く、ごはんを食べ、お風呂に入り、寝るだけの場所になっている子ども多い	1
3	家族団らん、命の大切さ、基本的な生活習慣を知らせる場所となしてほしい	2
4	親に時間的な余裕があること(親子の時間が取れる、コミュニケーション)	6
5	子どものやる気を引き出してあげること	1
6	子どもと一緒に遊ぶこと(テーマパークではなく、公園でボール遊びなど)	1
7	国の支援が必要(家庭のゆとりをつくるため)	1
8	子育ての悩みを聞けたり、吐き出したりできるような場を作る(面談、懇談会サークルなど)	1
9	子どもが自分の気持ちを発散でき、その気持ちを家族が受け止めること	1
10	言葉遣い	1
11	母親同士の横のつながり	1
12	児童館の活用	1
13	自園では「子育てセミナー」を年に数回、懇談会、個人面談等を実施して、保護者が子育てで悩んでいるところに踏み込	1
14	行事の参加率は高いので、そこでクラスの横の繋がりが出来るようにしている	1
15	できるだけ朝食・夕食を一緒にとる	1

問6 「地域の教育力」を高めるために重要なことはどのようなことだと思いますか。お考えを自由にご記入ください。

	意見内容	人数
1	人間関係や連帯感が希薄になってきているため、地域の人と繋がることが大切。地域の活動に親子で参加して欲しい	7
2	子どもは社会が育てるという思いを大人が持つこと	2
3	大人が子どもたちの見本となるような行動をすること	1
4	保護者をはじめ、小学校の先生や、地域の人たちに子どもの権利条約の精神を広げていくこと	1
5	親子で一緒に育って行ける支援が必要	1
6	福生は公園が多く、保護者同士が子どもを通して関わっている。素晴らしい環境	1
7	習い事が多すぎて、地域の行事に参加できない家庭がある	1
8	あいさつ、声掛け	1

問7 子どもたちを見て、貧困、障害、外国籍など気になることを自由にご記入ください。

	意見内容	人数
1	外国籍の方が多い。日本に住むには、日本での生活を知らせていく必要がある	2
2	外国籍の子に保育園では手厚く対応しているが、小学校ではここまで対応できるのか不安	1
3	障害というより、気になるお子さんが増えていて、その対応や保護者へ伝える点で職員は大変な思いをしている	3
4	家庭の教育力の低さ(しつけ、言葉遣い)	1
5	障害については、巡回相談などから適切なアドバイスをいただき、保育士がチャレンジしてみようという意欲がわき、助かっている	1
6	外国籍の子は食文化が違うので、日本食に馴染めず、離乳食や給食が進めにくいと感じる	2
7	外国籍の家庭とは連携が取りにくい(食べているものが違う、食材、料理の説明が難しい)	5
8	外国籍の方用の保育園マニュアルがあると良い	1
9	支援が必要な子が年々増えている。	2
10	巡回の様子を保護者に伝えられる方法ができると良い	1
11	集まる場所の提供	1
12	障害児に対しての対応の仕方が適切なのか、障害の程度も一人ひとり違うので難しい	1
13	偏見をもつことなく、大人が子どもたちと接する	1

問8 その他、子育て支援についてのご意見を自由にご記入ください。

	意見内容	人数
1	福生市は「子育てしやすい」をうたっているが、「子育て放棄」を応援している様に感じる	3
2	親子がもっとコミュニケーションが取れるような支援をしてほしい	2
3	子どもが親と一緒にいたいという気持ちを最優先に考えた支援にして欲しい	1
4	一番大切な乳幼児期に「大変」といって子どもに向き合えない家庭が増えている	1
5	集団生活を送ることが困難で、支援などが必要な子に対して、家庭へのアプローチ専門の方に手伝ってもらえたらスムーズに進むのではないかな	1
6	行政主導型の親子参加保育行事を今より多く取り入れて欲しい	1
7	親同士の意見交換ができる場を設けたり、参加し易い小さい単位で子育てについての講演会などがあるとよい	1
8	園で過ごす時間が多いことで一番大事な幼少期を両親と過ごす時間が減ってしまうのは疑問	1
9	保育園の地域の方の子育て支援事業は定着してきた	1
10	病児保育(あんず)は利用者も多く、保護者は安心して利用している	1
11	切れ目のない体制が取りにくい、より包括的な支援体制が取れるように子ども・福祉分野の基礎構造改革が必要	1
12	保護者の子育て支援には手厚いが、子ども本人に対しての支援はあまり無いように思う	1
13	兄弟、姉妹が少ないので、親が環境をつくる(広場・公園等子どもと親が集まる場所に行くなど)	1

【小学校】

問3 幼稚園、保育園での教育・保育と小学校教育が円滑に接続され、子どもが不安なく小学校生活をスタートできるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。また、実際に行っているもの(状況)はありますか。

	意見内容	人数
1	入学以前のひらがなの読み書きに繋がる指導	1
2	生活科の時間や運動会などの交流活動	6
3	幼・保 保育士体験	1
4	入学児童に関わる幼保訪問による調査(引継ぎ会の実施・情報共有)	3
5	障害特性の早期掌握と適正就学	2
6	教員が保育園、幼稚園へ指導の様子を直接見に行く機会が欲しい	1
7	保育園の保育士、幼稚園の教員に小学校での学校生活の様子を見ていただく機会を設けて、日々の指導に活かしたい	1
8	保育園、幼稚園の間に気が乗らなくてもやらなくてはいけないという経験をさせてほしい	1
9	適切な引継ぎをおこなうことで、学級編成や担任配置を適切に行うことが出来る	1
10	幼保職員と小学校教員の交流、情報交換、合同研修会	2
11	保護者へのより積極的な教育相談への呼びかけ	1
12	小学校教員による保護者への説明会、研修会等の開催	1
13	幼保小を円滑に接続するカリキュラムの作成	1
14	保護者への理解啓発	1

問4 子どもたちを見て、貧困、障害、外国籍など気になることを自由にご記入ください。

	意見内容	人数
1	経済的貧困は見えにくく、認知しにくい	1
2	教育格差による貧困も深刻	1
3	入学後ひらがなの読み書きができる子と全くできない子が混在する中での指導は難しい	1
4	学校は集団生活が主なため、個別に支援が必要な子に対して十分な個別指導ができていない	2
5	ひとり親、祖父母養育家庭が多い。こうしたケースにネグレクト、情緒不安定等発達障害に似た行動を示す場合が多い	1
6	外国籍の児童は比較的落ち着いており、安定している	1
7	親が自分で手一杯で子どもの宿題や持ち物の管理まで目が行き届かない	1
8	子どもが親に遠慮する姿が見られる	1
9	児童本人が外国籍であることに関して、気にしだす場面が見られる	1
10	ネグレクト傾向により、朝食を食べてこなかったり、夕食をコンビニなどで買って食べたりする児童がいる	1
11	外国籍児童が土曜授業日に欠席することが多い	1
12	親が夜の仕事で、夜遅くまで児童だけで過ごす家庭がある	1
13	様々な理由で、家庭での教育・子育てが困難な家庭が増加している	1
14	学習以前に、過程の状況で登校が不安定な児童がいるが、学校としての支援が難しい。行政としてもっと支援の量と質を上げる必要がある。(学校職員によるモーニングコール、迎えなどの業務外の努力で何とか持っているのが現状である)	1
15	外国籍(特に日本語が不自由な家庭)への支援の方法がもっと必要。(必要な時に即対応できる公式な通訳を市で常駐)	1
16	外国籍の子の親の考えや、本人の行動が気になる。教育に対して関心が薄い	1
17	家庭の教育力の低下	1

問5 その他、子育て支援についてのご意見を自由にご記入ください。

	意見内容	人数
1	二小の地域特性として、貧困や外国籍の問題はどのような状態なのか知りたい	1
2	外国籍の家庭が多く、学校からの連絡やお願い事を正しく伝えることが難しい場面がある	1
3	学校に子育て全般の支援の専門職を配置するなど、学校に相談があったら、教員ではないものが対応できるようになると良い(保護者の方も何でも学校へと連絡してくるが「学校の範疇ではない」と外へ回す訳にも行かず、学校の教職員が全て対応している。)	1
4	教育相談室からの情報が今年度は多くなかった。各機関との連携が必要	1
5	家庭教育講座や「リーフレットの作成などを充実させる	1

【学童クラブ・ふっさっ子の広場・児童館】

問3 園や施設に通う子どもたちを見て、幼児期に身につけておくべき「生きる力」について、気になることはありますか。

① 生活面(身の回りの清潔、衣服の着脱、食事、排泄、睡眠等)について

	意見内容	人数
1	食事のマナー(椅子の座り方、姿勢など)の悪さで気になる子が多い	2
2	やればできることでも面倒臭がる	1
3	片づけができる子が少ない	6
4	自分のものの管理ができる子が少ない(筆記用具、はさみなど)	3
5	寝る時間が遅いのか、睡眠時間が足りていない様子	5
6	季節に合った服装をしていない	1
7	マナー・習慣(トイレ後ペーパーで拭く、水を流す、ハンカチちり紙の所持)が出来ていない子がいる	4
8	長期休みの食事や平日のお風呂を1年生が一人で済ませている児童がいるが、ふっさっ子のひろばの玩具をポケットやランドセルに入れて頻繁に持って帰ってしまったも保護者から何のリアクションもなく、無関心なのか心配している	1
9	朝食抜き、菓子パン、お菓子での代替など、良い食事ができていない子がいる	2
10	習い事が多く、自由な時間が少ない	1
11	基本的には清潔で綺麗な衣服を着ている	1
12	生活習慣、早寝早起き、偏りのない食事を身に付けておく必要がある	1
13	食わず嫌いや偏食が多い	2
14	アレルギーの子が増えている	2
15	脚力が弱っているのか、座った状態でしか靴を履けない子が多い	1
16	椅子にまっすぐ座れない子が多くなってきた	1
17	手洗いの習慣がついておらず、タオルやハンカチを持っていないため、濡れた手を衣服で拭いてしまう	1

② 人とかかわる力について

	意見内容	人数
1	集団行動を通じて、人とかかわる力を身に付けている	1
2	男女関係なく、悪口や言葉遣いの悪さが目立つ	6
3	自己中心的な行動が多く、我慢できない子、ルールが守れない子、力の加減が分からない子がいる	7
4	思いやる気持ちが足りず、人の痛みがわからない	6
5	あいさつ	5
6	集団行動が苦手で、友達同士で遊べない子が目に付く	2
7	得意ではない遊び(苦手なこと)をさげよとする	1
8	些細なこと(じゃんけんの勝ち負けなど)ですぐに手が出てしまう子、何回注意してもイジメをする子、トラブルを起こす子もいるが、優しい児童もいる	1
9	トラブルが起こると人のせいにして自分を省みない子が多い	1
11	「死ぬ」「殺す」などの言葉や中指を立てるような仕草を低学年の子も行っている	1
12	グループ分けをしていて、同じグループ内の子には気を遣うが、それ以外の子たちに攻撃的になる場合がある	1
13	お友達同士であっても、とても棘がある声かけや会話が乱発している	2
14	友達を大切にする前に、自分の欲求を通す場合が多い	1
15	性的表現の発言をする子が低年齢化している	1
16	男女仲良く遊んでいるグループもある	1
17	互いの個性を認めつつ、仲良く遊んでいるグループもある	1
18	親が見本、手本を見せることが将来に繋がると考える	1
19	ちょっとしたことに怒り、手や足が出る	1
20	上級生や大人、親に対しての言動が悪い	2
21	自分が一番でなければ気が済まない子が多い	1
22	自分の気持ちに余裕がなく、自分の話をじっくり聞いてほしいという子が多い	1
23	人見知りせず、集団の中に入ることはできるが、長続きせずひとりになってしまう子が多い	1
24	友達に気を遣い過ぎたり、自分の気持ちをうまく伝えられず、疲れてしまう子もいる	1

③ 学ぶ力をつけるために、大事だと思うことはどのようなことですか

	意見内容	人数
1	遊びの中で興味を持つことから育てられる	3
2	様々なことを体験し、挑戦すること	5
3	苦手なことにも挑戦し、失敗しても大丈夫と安心させること	2
4	楽しいと思えること	2
5	達成感	1
6	やってみたいという気持ち(興味、関心、好奇心がわくような環境設定をする)	3
7	子どものやる気を後押しする言葉かけ	1
8	適度な競争心	1
9	安心して活動できる環境と見守り・サポートが必要	1
10	もっと多種多様なあそびが行える場(プレイパークなど)が市内に増えること	1
11	自ら知ろうとする力、学ぼうとする力が育まれる場所をつくる	2
12	現在は小学校の宿題が多すぎるため、自ら何かをしようとする時間が奪われている	1

13	本を読むこと	1
14	人の話を聞く耳を持つこと	2
15	人や物事に興味を持つこと	1
16	想像力を培うこと	1
17	子どもが持った興味や関心を放置せず、寄り添って一緒に考え行動する	1
18	じっくりと物事に取り組む時間を作る	1
19	いろいろなことを体験させる	1
20	すぐに答えを導き出すのではなく、自分で考えさせる	1
21	家庭の協力	1

問4 幼稚園、保育園での教育・保育と小学校教育が円滑に接続され、子どもが不安なく小学校生活をスタートできるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。また、実際に行っているもの(状況)はありますか。

	意見内容	人数
1	小学校での一日体験授業は行った方がよい	1
2	近隣保育園・幼稚園・小学校との交流事業	3
3	新一年生の卒園下保育園・幼稚園との情報交換	1
4	学童クラブに入所する子の情報を出身保育園や幼稚園に聞きに行っている	3
5	(気になる子について、)小学校と情報共有している	5
6	地域音段階を開催し、いろいろな機関の肩と顔見知りになる場を設けている	1
7	時間を守る習慣が入学前にできると良い	1
8	異年齢で遊ぶ場(児童館など)の活用	1
9	児童館では、児童館に乳幼児期に通い、進学してからも学童クラブや児童館の利用に繋げようとする取り組み	1
10	小学校とはおたよりの交換や学校行事の参観、放課後の下校の確認などで連絡を取り合い、子どもたちの様子を知り、安全に通うことができるよう連携を図ることが大事だと思う	1
11	子ども家庭支援センターとかかわりのある児童については、入所時に保育園・小学校との申し送り会議に参加し、児童の養育歴や家庭の状況について情報提供していただき、定期的に連絡を取り合う	1
12	入所児童に聞いたところ、「知っている子がいるか不安だった」、「大きい子にいじめられないか心配だった」など大人が想像できることに加え、「学校は大きくて四角いから怖いと思った」という意見もあり、大人が想像する以上に子どもは不安に思っていると感じた	1
13	障害児についての情報共有、障害以外にも気になる子の特徴や関わり方などの情報共有	1
14	親子で小学校はどんなところかを話し合い、通学路なども一緒に歩いてみる。	1

問5 「家庭の教育力」を高めるために重要なことは何だと思いますか。お考えを自由にご記入ください。

	意見内容	人数
1	子どもが興味を持つこと、好きなことを見つけるためのサポートをおこなってあげること	2
2	親子の会話の時間をもつ(コミュニケーション)	6
3	本の読み聞かせ	1
4	食事を一緒にとる	1
5	親子での経験・体験	1
6	子育ての悩みについて、専門家を招いての学習会などができると良い	1
7	もっと子どもに目を向けてもらいたい。手の掛からない子どもほど気を配る必要がある	3
8	社会的なマナー・生活習慣	1
9	宿題を学童クラブに任せすぎりにせず、自分の子どもはどこが苦手なのか、理解しているのかを家庭でも確認する(宿題の〇つけだけが、家庭の教育力ではない)	2
10	子どもが前向きに活動・生活ができるような声かけや見守りを家庭の中で行えるような支援を行う	1
11	子ども・保護者がともに前向きな経験を行えるような場をもっと作っていくべき	1
12	自己中心的な考え方を持っている親が増えてきているので、親の意識改革が必要	1
13	社会の子どもに対する考え方(子育てなど)を変える	1
14	親も子どもと一緒に、社会のルールや人に対する思いやりの気持ちを学ぶ場があるといいと思う	1
15	毎日短い時間でも、スキンシップ等のコミュニケーションをとり、心の安定を図ること	1
16	どのような教育力を求めるかにより、重要なことも違うと思う	1
17	予習・復習を家庭で行うことが理想的だが、両親が忙しく見られない家庭が多い。ふっさつ子の広場等の学習支援を利用してもらいたい。	1

問6 「地域の教育力」を高めるために重要なことはどのようなことだと思いますか。お考えを自由にご記入ください。

	意見内容	人数
1	学校と関係機関(地域含む)の連携・環境づくり	6
2	子どもたちが抱えていることを共有する	1
3	色々な人とのかかわりで子どもたちは成長するため、保護者やお店の人、近所の人とのかかわり(挨拶など)	2
4	子どもの登下校や放課後の見守りをする	1
5	子どもたちが集まる場所で大人との交流ができれば児童の育成にも繋がるのではないかと	1
6	子どもは子どもの専門機関(児童館、小学校、保育園など)に任せればよいという考え方から、「子育ては地域で行う」という考え方に変換するような取り組みをする	1
7	施設や専門機関がもっと地域に対して敷居を低くし、地域のイベントにもっとリンクして関わっていくべき	1

8	核家族が進んでいる中で、子育てに悩んでいる保護者が気軽に親子ともに関われる場が必要	1
9	親も子どもも、もっとほっとできる場をつくる	1
10	大人の一人ひとりが子育て、子どもについてもっと寛容であってほしい(窮屈過ぎると感じる)	1
11	地域に住む方にボランティアとして子どもに関わってもらう	1
12	地域の行事等にも積極的に参加する	1
13	子どもに声を掛けただけで不審者扱いするなどの風潮の改善	1

問7 子どもたちを見て、貧困、障害、外国籍など気になることを自由にご記入ください。

	意見内容	人数
1	地域全体が一体となって行うことが大切	1
2	発達障害を持つ子、疑われる子が以前より増えている	1
3	障害を持つ子への適切な対応の仕方がわからないがゆえの困難が問題をより難しくしてしまっている(親への伝え方など)	2
4	学校の勉強についていけないのか、忙しい家庭では衣服や食事の心配がある	1
5	小学校では日本語学級が一小にあるが、中学校ではないので、学力の低下が心配	1
6	小学校に入学すれば、すぐに子どもは何でもできるようになると考えている保護者が多い	1
7	子どもと一緒に過ごす時間を意識して欲しい	1
8	障害なのか、家庭環境からなのか見極めることが難しいため、対応に困る	1
9	日本語が分からない子にたいしてコミュニケーションが大変	2
10	習い事などの面で貧富の差はダイレクトに子どもたちに反映されている	1
11	担任との相性が良くなくてストレスをためている子が多く、学校への不満をよく聞く	1
12	利己主義に見える子が多い、乱暴な子が多い	1
13	やられたらやり返せと言う親がいる	1
14	明確な障害ではないが、友達とのコミュニケーションの取り方が気になる子が増えた	2
15	キレやすい子、常にイライラしている子、言動のすべてが攻撃的な子などが、学校や家庭ではそういった問題行動を出さず、それ以外の場で暴れる(ストレスの根源がどこにあるか不明)ため、どう受け入れることが正しい	1
16	通級に通う子のラインや、どこが気になるポイントなのかを理解したい	1
17	言語の違いにより、外国籍の保護者とのコミュニケーションが難しい	2
18	外国籍の子、どちらかの親が外国籍の子どもは、宿題の内容・集団生活でのルールが理解できない。	2
19	外国籍の子について、子ども同士のトラブルがあった際、日本人職員の指導を受け入れられず、「自分は日本人ではないから」と拒否される場合がある	1
20	外国籍の保護者には、自分の子が悪くても相手の子を悪く思う人が多い。子どもは保護者にかばってもらっているため、わがままや意地悪がなおりにくい。	1
21	支援が必要な子どもであるにもかかわらず、しかるべき支援の場所に繋げていくことが難しい。SS、SSW、子ども家庭支援センター、特別支援教室等があるが、上手く機能していない	1

問8 その他、子育て支援についてのご意見を自由にご記入ください。

	意見内容	人数
1	子育てに悩む親、疲れている親をいかにして孤立させず、地域で見守る体制をとれるか。外に出て打ち明けられる場所や機会を増やすことが必要	2
2	子どもや家庭のことで気になることがあったとき、職員同士、学校と共有していますが、いつもどのレベルのことまでは共有した方がいいのか、外の機関に相談した方がいいのか悩むことがある	1
3	児童館へ行こうと思わない人への支援が必要	1
4	愛情不足を感じる子どもが多い	1
5	貧富の差で将来が決まってしまうようなしくみを改善できるようなシステムがほしい	1
6	ネウボラのような制度も良いと思う	1
7	学童クラブで6年生まで登所可能になって数年経つが、1年生から6年生が同じ空間で生活するのはとても無理があり、異年齢の関係がうまく発揮される場合は良いが、むしろ逆効果になる場面が多くなっており、高学年の学童クラブ利用はとても疑問だ	1
8	今、一番必要なのは、安価もしくは無料で、敷居が低く、ルールもゆるく、のんびり遊べる場所であり、そのためにもプレイパークが必要だ	1
9	子どもについて考えることは多いが、親への支援、地域社会の子育てについての見方、考え方を変えていく	1
10	学童クラブに通う子どもたちの家庭は、共働きなどで家族で過ごす時間が短いと感ずるため、学童クラブではお友達と自由に遊んだり、のびのびと過ごす時間を支援していく	2
11	子どもたちがほっとすることができる居場所を作る	1
12	家庭で足りない部分を行政が補う程度でよく、手厚くしすぎないで欲しい。親としての役割を人任せにする親が	1
13	子育ては親だけでなく、教育現場や地域が一緒になって行うもの	1